

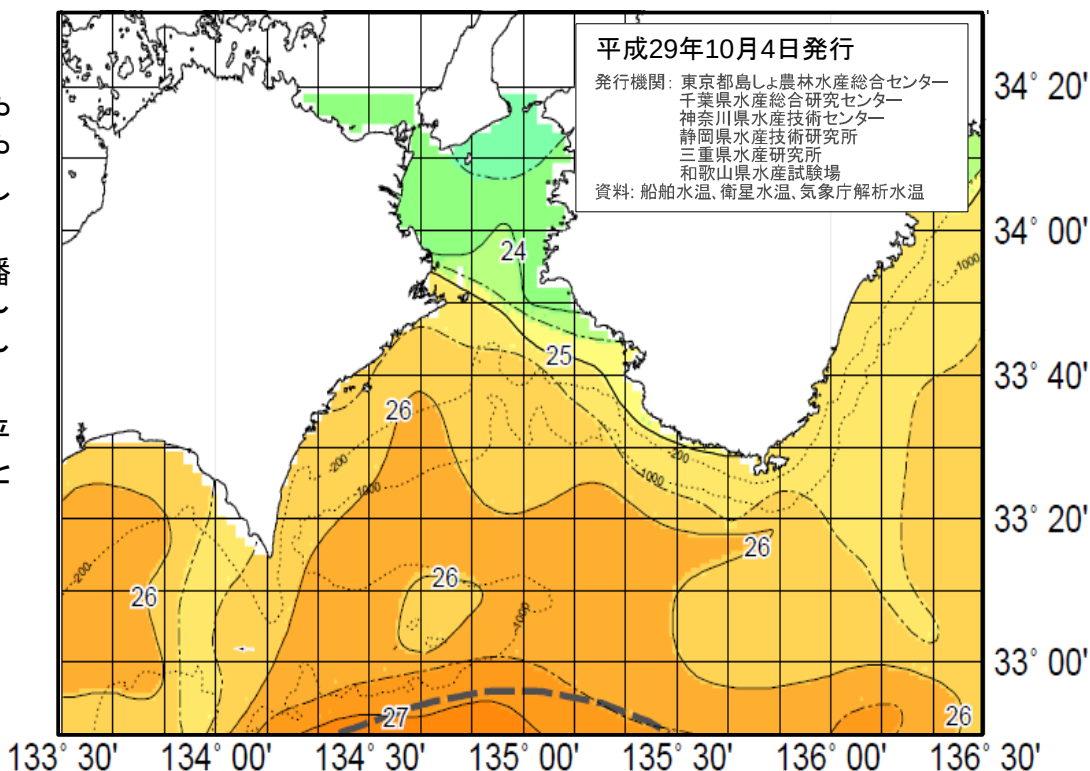
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」、潮岬沖では「やや離岸」のち「離岸」で推移した。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘と紀伊水道で23℃～24℃台、海部沿岸で25℃～26℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は平年並みの27℃～28℃台となっている。

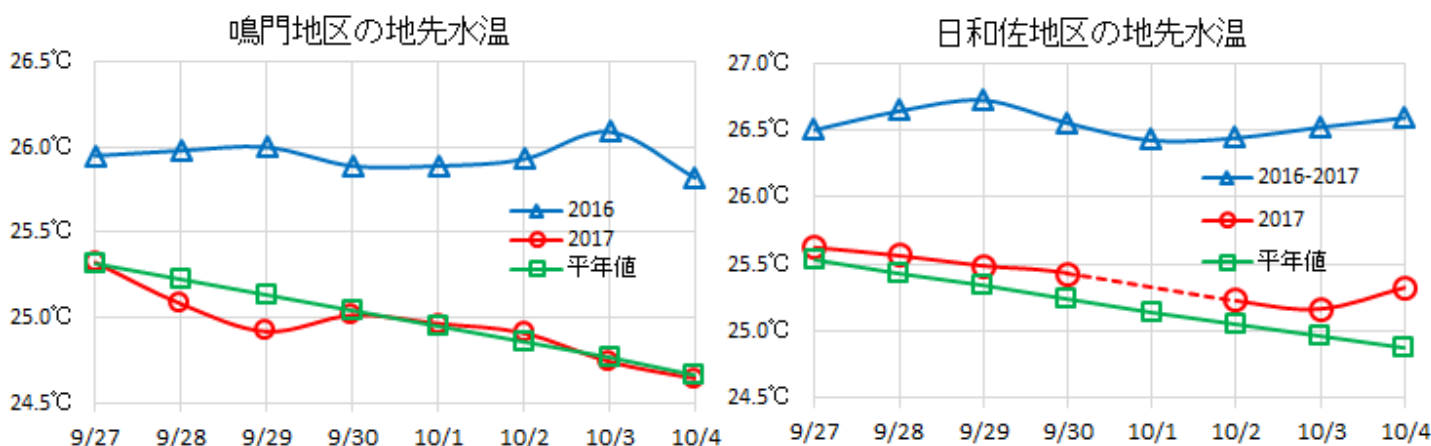


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(9月27日～10月4日)

鳴門地区の地先水温は、期間を通じて「平年並み」で、25.3℃から24.6℃に低下した。

日和佐地区の地先水温も期間を通じて「平年並み」で、10月3日にかけて25.6℃から25.2℃に低下したのち、4日にやや上がって25.3℃となっている。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(10月5日～10月10日)

黒潮は、室戸岬沖では接岸傾向で「やや離岸」、潮岬沖では「やや離岸」～「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の24℃台、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の25℃台で推移する見込み。

漁況

2017年9月25日～10月1日（旧暦8月6日～8月12日）

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

船びき網では、シラスが減って30.4ト水揚げされた。

延縄では、サワラが大きく増えて14.1ト、タチウオが増えて1.8ト、ハモが減って0.8ト水揚げされた。

建網では、カワハギが増えて大主体に1.0ト水揚げされた。

小型定置網では、カンパチが増えて0.6ト、ブリがつばすサイズ主体に0.6ト、マアジが小小主体に0.5ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが減って1.6ト、クマエビ(あしあか)が増えて0.5ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

釣りでは、カツオ釣りが落ち着き、カツオが大きく減って5.1ト、キハダマグロも減って0.2ト水揚げされた。タチウオ釣りは出漁が増えてタチウオが0.7ト水揚げされた。

延縄では、キダイが大主体に0.3ト水揚げされた。

建網では、カワハギが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が大きく増えて0.9ト、マアジも小小主体に大きく増えて0.9ト、アオリイカが小型主体に0.5ト、ウルメイワシが大きく減って0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	108	シラス	30,375	281		↘
	延縄	85	サワラ	14,118	166		↗↗
		71	タチウオ	1,845	26		↗
		10	ハモ	833	83		↘
	建網	95	カワハギ	1,036	11	大主体	↗↗
	小型定置網	21	カンパチ	642	31		↗↗
		22	ブリ	606	28	つばす主体	→
		24	マアジ	514	21	小小主体	→
		22	マルアジ	241	11		→
	底びき網	32	ハモ	1,607	50		↘
		30	クマエビ	506	17		↗↗
		24	いとより類	334	14		↗↗
海部沿岸	釣り	16	カツオ	5,146	322	小主体	↘↘
		23	タチウオ	687	30		↗↗
		12	カマスサワラ	340	28		↗↗
		11	キハダマグロ	220	20		↘↘
	延縄	15	キダイ	281	19	大主体	↘
	建網	99	カワハギ	215	2		↘
	小型定置網	18	かます類	909	51		↗↗
		29	マアジ	876	30	小小主体	↗↗
		44	アオリイカ	470	11		↗↗
		14	カツオ	374	27		↗↗
		8	ウルメイワシ	312	39		↘↘
		38	カンパチ	299	8		↗↗
28	ヒラソウダ	224	8		↗		

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘